

令和2年6月10日(水)

校長室より②⑨



こんにちは。

今日は「時の記念日」です。1920年に東京天文台(現・国立天文台)と生活改善同盟が制定した日です。(残念ながら休日ではありません)日本の昔のことが書いてある**日本書紀**によると、「671年 天智天皇が設置した日本で初めて水時計(漏刻)が時を刻み、鐘を打ち鳴らした日」と書かれています。つまり「日本で初めて時計が動いた日」ということです。この日が、現在の6月10日にあたるそうです。

時の記念日にあたり、はちのこのみんなに「時間(時刻)を守ることの大切さ」と「時間の大切さ」を考えてもらいたいと思います。

「時間を守ることの大切さ」とは、決められた時間(時刻)を守ることです。学校では、日課表をもとに時間(時刻)が決められています。それをみんなが守ることで、一緒に勉強をしたり遊んだり給食を食べたりできます。毎朝8:15を目指して登校することが、時間を守ることの第一歩です。(なかなかうまくいかないこともあると思いますが)

「時間の大切さ」とは、限られた時間を無駄にしないことです。学校では、登校してから下校するまでに授業(45分間)、業間休み・昼休み(20分間)、給食(45分間)など、それぞれに限られた時間があります。それらを一人ひとりが意識することで、集団生活ができます。なるべくその時間内にできるようにしましょう。(なかなかうまくいかないこともあると思いますが)